

授業のヒント

みなさんの学習者は、覚えた漢字の形をすぐ忘れてたり、書く練習をいやがったりしていませんか。今回は、授業の中で習った漢字や熟語を楽しく書きながら記憶を強化する練習を3つで紹介합니다。

テーマ 楽しい漢字の練習

目的 もくてき
<ul style="list-style-type: none"> ・単調になりがちな漢字の練習を楽しく行う。 ・漢字のつくりや画数や書き順にも注目させる。 ・熟語を増やす。
学習者のタイプ がくしゅうしゃ
・初級から上級
クラスの数 にんずう
・何人でも
準備するもの じゅんび
・ワークシート、黒板

◆漢字計算

漢字は一度学んだだけでその形を記憶しておくのはなかなか大変です。しかし、部首の組み合わせでできている漢字もたくさんあり、そのことを利用すれば、簡単には忘れなくなります。

<準備> まず、次の例のような漢字の計算問題を考えて黒板に書くか、ワークシートを用意します。足し算は引き算に、掛け算は割り算の問題にもできます。

●例) 漢字の部首の組み合わせを使った計算問題

足し算 (引き算)	日+月 = (明)
	木+一 = (本)
	木+人 = (休)
	白+一 = (自、百)
	夕+口 = (名)
掛け算 (割り算)	木×2 = (林)
	木×3 = (森)
	口×2 = (回)
	口×3 = (品)
	夕×2 = (多)

<手順>

1. 例題の問題をいくつかやって、計算のやり方を説明

します。

2. 学習者にその問題を提示して答えを考えさせます。
3. クラスで答えあわせをします。この時、「人」のように部首になると形が少し変わるものがあることやそれぞれの部首の大きさが変わることにも注目させてください。また、答えは一つの場合も、複数になる場合もあります。

<アドバイス>

活動の形態としては、学習者が一人で答えを考えるのもいいですが、ペアやグループになって答えを考える活動にしてもいいでしょう。また、先生がいくつかの例を示したあとで、学習者に計算式を考えさせ、互いの問題に答えるという活動にすることもできます。

さらに、漢字の部首だけでなく、すでに習ったカタカナを利用して漢字の計算問題を作ることもできます。たとえば、「夕+口」はカタカナの「夕+口」の足し算と考えることもできます。カタカナの計算の例をもう少し紹介してみましょう。

例) イ+ヒ = 化 (足し算)

ヒ×2 = 比 (掛け算)

このように、漢字を分解して覚えると、覚えやすいですし、また、次に新しい漢字を導入するときにも、学習者がそのような見方で漢字をみるようになるので効果的です。

◆漢字じゃんけん

このゲームは、元々、アメリカの日本語教師マーレンさんのアイデアです。オーストラリアの『Obento』という教科書の中にも似たようなゲームが紹介されています。今回はそれに、本コーナー担当者が少しアイデアを付け加えました。漢字の画数や書き順にも注目させて書きの練習をさせたい人におすすめのゲームです。今回は、五画までの漢字を取り上げてみましょう。

<準備> 勉強した漢字を画数でまとめたワークシート、

黒板

<手順>

1. 勉強した漢字を画数でまとめたワークシートを配ります。

2. 教師は、一画から五画までの習った漢字を学習者にあげさせて、それを黒板に書きます。その時、教師は、本当にその漢字が指示した画数の漢字であるかどうかを確かめるように書きます。

一画 いっかく	一 いち
二画 にかく	二、人、入、七、八、九 に ひと にゅう なな はち きゅう
三画 さんかく	三、口、川、山、土、万、千 さん くち かわ やま つち まん せん
四画 よんかく	火、水、五、六、円 ひ みず ご ろく えん
五画 ごかく	四、半 よん はん

注：上記は教師が黒板に書く図です。生徒用のワークシートは右側が空欄になっています。

3. 黒板にそれぞれの画数の漢字が全部出たら、今度は、生徒がペアになって一枚のワークシートに漢字を二人で書いていきます。このとき、Aさんは青いペン、Bさんは、赤いペンを持ちます。
4. 一画毎に、じゃんけんをして、勝った人がワークシートに一画の漢字から一画ずつ漢字を書いていきます。



5. 最後の漢字まで書いたら、ゲームは終わりです。そして、できるだけたくさん画数を書いた人の勝ちになります。

<アドバイス>

この練習の前半は、習った漢字の総復習にも使えますし、新しい漢字の書きの導入にも使えます。そして、後半は、じゃんけんをやりながら書きの練習をすることになります。漢字が書き順や字形も含めて正しく書けているかどうかは、ペアワークの間、先生が回ってチェックするとよいでしょう。この時、ふたりが違う色のペンで書いていると、だれがどこで間違えているかをチェックすることができます。また、学習者も一画、一画を意識できたり、お互いに間違いを見つけやすくなります。

◆熟語しりとり

このゲームは、熟語の後ろの漢字で始まる熟語をつなげていくゲームです。漢字熟語をたくさん習得した中級以上の学習者が対象となります。

<準備>クロスワードのワークシート

<手順>

1. はじめに、教師が一つの熟語を与え、ワークシートに書かせます。今回は、「日本」という熟語を与えてみましょう。
2. そして、ゲームのやり方を説明するため、次に学習者には「本」で始まる熟語を考えるよう指示します。
3. やり方がわかったら、学習者をグループに分け、一定時間を与え、しりとりを考えさせます。
4. 時間になったら、黒板に答えを書いてもらいます。そして熟語の読み方や意味の確認をします。一番長くて正しい熟語のしりとりを考えたグループを勝ちとします。

<アドバイス>

漢字の熟語を思い出すのは難しいかもしれないので、辞書を使ってもよいです。

また、以下の例のように、穴埋めをして熟語のしりとりを完成させる問題を先生が準備するという方法もあります。

「熟語しりとり」例（答えは参考文献の下にあります）

日	本			
	(1)	間		
		食	(2)	
			件	名
				(3)

参考文献
さんこうぶんけん

1. 『Japanese for young people II. Kanji workbook』AJALT
2. 『絵でわかるかんたんかんじ 80』スリーエーネットワーク
3. 『漢字学習のアイデア』小学館
4. 『コピーして使える楽しい漢字クイズ&パズル&ゲーム』黎明書房
5. 『Basic Kanji Book 500』凡人社
6. 『漢字が楽しくなる本』太郎次郎社
7. 『漢字遊びファックス資料集』民衆社

「熟語しりとり」解答例 ①人 ②事 ③前